

はき 3-74 糖尿病と関係のないのはどれか。

1. 遺伝的素因
2. プリン代謝異常
3. 多尿
4. タンパク尿

はき 4-77 糖尿病の合併症で適切でないのはどれか。

1. 網膜症
2. ニューロパチー
3. くも状血管腫
4. 腎障害

はき 5-86 内分泌疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 糖尿病 一 多尿
2. 褐色細胞腫 一 高血圧
3. バセドウ病 一 眼球陥凹
4. 先端巨大症 一 舌の肥大

はき 7-71 糖尿病の合併症で誤っているのはどれか。

1. 網膜症
2. 末梢動脈閉塞
3. 末梢神経障害
4. 急性糸球体腎炎

はき 8-74 呼吸とその原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 頻呼吸 一 脳圧亢進
2. クスマウル大呼吸 一 糖尿病性アシドーシス
3. 起坐呼吸 一 心不全
4. チェーン・ストークス呼吸 一 尿毒症

はき 10-87 糖尿病の3大合併症でないのはどれか。

1. 網膜症
2. 心筋症
3. 腎症
4. 末梢神経障害

はき 12-73 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「35歳の男性。口渴、多飲、多尿（低比重尿）、水制限試験で尿量の減少はみられなかった。」

1. 糖尿病
2. 心因性多尿
3. 尿崩症
4. 原発性アルドステロン症

はき 12-81 手根管症候群の原因とならないのはどれか。

1. 妊娠
2. 甲状腺機能亢進症
3. 関節リウマチ
4. 糖尿病

はき 14-72 代謝疾患について誤っている組み合わせはどれか。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 高尿酸血症 | — 腎不全 |
| 2. 高コレステロール血症 | — 急性膵炎 |
| 3. 糖尿病 | — 起立性低血圧 |
| 4. 肥満症 | — 睡眠時無呼吸症候群 |

はき 15-64 I型糖尿病の原因でないのはどれか。

1. ウイルス感染
2. 遺伝性素因
3. 妊娠
4. 自己免疫異常

はき 16-82 糖尿病性網膜症について誤っている記述はどれか。

1. 失明の原因となる。
2. レーザーによる光凝固治療が行われる。
3. 硝子体出血をきたす。
4. 閃輝暗点がみられる。

はき 17-68 糖尿病患者に合併しやすいのはどれか。

1. 結膜出血
2. 甲状腺腫大
3. 下肢の知覚鈍麻
4. アキレス腱反射亢進

はき 17-77 「60歳の男性。糖尿病発症から15年経過、現在腎機能は正常。収縮期血圧は180mmHg、拡張期血圧は90mmHgである。」早期糖尿病性腎症を最も示唆するのはどれか。

1. クレアチニンクリアランス低下
2. 微量アルブミン尿
3. HbA1c高値
4. 血尿

はき 17-78 「60歳の男性。糖尿病発症から15年経過、現在腎機能は正常。収縮期血圧は180mmHg、拡張期血圧は90mmHgである。」最近下肢の冷感が出現している。最も優先度の高いスクリーニング検査はどれか。

1. 心電図
2. 頸動脈超音波検査
3. 足背動脈拍動の確認
4. 両側アキレス腱反射

はき 19-74 糖尿病について正しい記述はどれか。

1. 2型糖尿病は若年者に多い。
2. 乏尿がみられる。
3. グリコアルブミンは過去1~2か月の血糖値を反映する。
4. 1型糖尿病患者にはインスリン療法を行う。

はき 21-62 慢性膵炎で正しい記述はどれか。

1. 胆石によるものが多い。
2. 便秘が多い。
3. 腹部超音波検査で石灰化像がみられる。
4. 病初期より糖尿病が発症する。

はき 22-64 肺結核について正しいのはどれか。

1. 接触感染の頻度が高い。
2. 一次結核症の頻度が高い。
3. クオンティフェロン法は診断に用いられる。
4. 糖尿病合併患者では再発率が低い。

はき 25-62 歯周病の増悪因子でないのはどれか

1. 喫煙
2. 舌炎
3. 妊娠
4. 糖尿病

はき 25-67 2型糖尿病について正しいのはどれか

1. 若年者に多い。
2. 肥満者に多い。
3. インスリン療法が必須である。
4. 1型糖尿病より罹患者数が少ない。

はき 26-59 骨密度が保たれていても骨折を起こしやすいのはどれか。

1. 糖尿病
2. 高血圧症
3. 脂質異常症
4. 高尿酸血症

はき 26-63 脂肪肝に関係ないのはどれか。

1. 肥 満
2. 糖尿病
3. 肝硬変
4. **胆嚢ポリープ**

はき 27-57 骨粗鬆症における骨折危険因子でないのはどれか。

1. 運 動
2. 喫 煙
3. 糖尿病
4. 副腎皮質ステロイド薬

はき 29-59 失明の原因となるのはどれか。

1. 痛 風
2. 骨形成不全症
3. **糖尿病**
4. 脂質異常症

はき 29-70 膵癌のリスクファクターでないのはどれか。

1. 糖尿病
2. 慢性膵炎
3. 喫 煙
4. **高血圧**

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：高脂血症 P. 113

はき 6-80 虚血性心疾患の危険因子（リスク要因）はどれか。

1. タンパク尿
2. 不整脈
3. 高尿酸血症
4. **高脂血症**

はき 7-70 高脂血症で増加しないのはどれか。

1. **プリン体**
2. L D L
3. トリグリセリド
4. コレステロール

はき 13-81 ネフローゼ症候群の特徴でないのはどれか。

1. 全身浮腫
2. **ミオグロビン尿症**
3. 低蛋白血症
4. 高脂血症

はき 16-76 全身性エリテマトーデスで誤っている記述はどれか。

1. 高脂血症を合併する。
2. 20～40歳代の女性に好発する。
3. 関節痛がみられる。
4. 蝶形紅斑が特徴的である。

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：肥満症 P. 115

はき 5-83 肥満をきたす内分泌疾患はどれか。

1. バセドウ病
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. シーハン症候群

はき 13-73 15歳の肥満男子。軽微な外傷後跛行を主訴として来院した。最も考えられるのはどれか。

1. ペルテス病
2. 変形性股関節症
3. 結核性股関節炎
4. 大腿骨頭すべり症

はき 14-72 代謝疾患について誤っている組み合わせはどれか。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 高尿酸血症 | — 腎不全 |
| 2. 高コレステロール血症 | — 急性膵炎 |
| 3. 糖尿病 | — 起立性低血圧 |
| 4. 肥満症 | — 睡眠時無呼吸症候群 |

はき 16-65 原発性自然気胸について誤っているのはどれか。

1. 若年者に多い。
2. 肥満者に多い。
3. 喫煙者に多い。
4. 再発率が高い。

はき 21-72 気胸について正しい記述はどれか。

1. 突然嘔声が出現する。
2. 肥満は危険因子である。
3. 自然気胸は成人女性に多い。
4. 緊張性気胸は緊急処置が必要となる。

はき 23-71 自然気胸について正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 肥満者が多い。
3. 胸痛をきたすことが多い。
4. 緊張性気胸となることはない。

はき 25-67 2型糖尿病について正しいのはどれか

1. 若年者が多い。
2. **肥満者が多い。**
3. インスリン療法が必須である。
4. 1型糖尿病より罹患者数が少ない。

はき 26-63 脂肪肝に関係ないのはどれか。

1. 肥満
2. 糖尿病
3. 肝硬変
4. **胆嚢ポリープ**

はき 28-65 続発性脂質異常症の診断に有用でないのはどれか。

1. 肥満度
2. **血尿の有無**
3. HbA1c
4. 甲状腺ホルモン値

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：るいそう P.116

はき 18-73 クッシング病でみられやすいのはどれか。

1. **月経異常**
2. るいそう
3. 低血圧
4. 脱毛

はき 32-65 胃食道逆流症について正しいのはどれか。

1. るいそう患者に好発する。
2. 近年減少傾向である。
3. **一過性下部食道括約筋弛緩が関与する。**
4. 生命予後は不良である。

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：高尿酸血症

はき 3-77 疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。

1. 成人T細胞白血病 — ウイルス
2. **血友病** — 血小板減少
3. 粘液水腫 — 甲状腺機能低下
4. 痛風 — 高尿酸血症

はき 6-80 虚血性心疾患の危険因子（リスク要因）はどれか。

1. タンパク尿
2. 不整脈
3. 高尿酸血症
4. **高脂血症**

はき 14-72 代謝疾患について誤っている組み合わせはどれか。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. 高尿酸血症 | — 腎不全 |
| 2. 高コレステロール血症 | — 急性胰炎 |
| 3. 糖尿病 | — 起立性低血圧 |
| 4. 肥満症 | — 睡眠時無呼吸症候群 |

はき 24-69 高尿酸血症について正しいのはどれか。

1. ヒスタミンと関連がある。
2. **尿管結石の原因となる。**
3. 痛風発作の初発部位は手の指節間関節である。
4. 自己免疫疾患である。

はき 26-59 骨密度が保たれていても骨折を起こしやすいのはどれか。

1. **糖尿病**
2. 高血圧症
3. 脂質異常症
4. 高尿酸血症

はき 27-64 繰発性高尿酸血症の原因とならないのはどれか。

1. 白血病
2. 腎不全
3. **狭心症**
4. 多発性骨髄腫

はき 32-67 膵癌のリスクファクターとして正しいのはどれか。

1. 高血圧症
2. 脂質異常症
3. 高尿酸血症
4. **糖尿病**

はき 1-72 正しい組合せはどれか。

1. 流行性耳下腺炎 — ムンプスウイルス感染
2. 消化性潰瘍 — 大腸菌感染
3. 虫垂炎 — ビタミンC欠乏
4. イレウス — アレルギー

はき 1-85 血液疾患について誤っているのはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血はヘモグロビン産生量の減少により生じる。
2. **悪性貧血はビタミンB1の欠乏により生じる。**
3. 急性白血病では白血球が急激に無制限に増殖する。
4. 血友病では第VIII凝固因子が欠乏している。

はき 8-77 貧血について誤っている組合せはどれか。

1. 鉄欠乏性貧血 — 大球性正色素性赤血球
2. 悪性貧血 — ビタミンB12欠乏
3. 再生不良性貧血 — 汎血球減少
4. 溶血性貧血 — 黄疸

はき 12-75 ビタミン欠乏で膝蓋腱反射減弱をきたすのはどれか。

1. ビタミンA
2. **ビタミンB₁**
3. ビタミンC
4. ビタミンE

はき 15-80 「25歳の男性。1年前から飲酒量が増加し、食事回数は減少した。1か月前から下腿浮腫、息切れ、膝蓋腱反射の消失がみられ、今朝から意識消失もみられるようになった。」原因と考えられるのはどれか。

1. **ビタミンB₁欠乏**
2. ニコチン酸欠乏
3. ウィルス感染
4. 脳腫瘍

はき 17-73 鉄欠乏性貧血について適切でない記述はどれか。

1. 息切れ・動悸の訴えがある。
2. 妊娠時に起こりやすい。
3. **ビタミン剤の投与が有効である。**
4. 血清フェリチン値は減少する。

はき 19-72 ベーチェット病について正しい記述はどれか。

1. 高齢者が多い。
2. 病的骨折がみられる。
3. ブドウ膜炎がみられる。
4. ビタミン B₁₂ の不足が原因である。

はき 20-71 疾患と検査結果との組合せで適切なのはどれか。

1. 関節リウマチ — CRP 値上昇
2. 悪性リンパ腫 — フィラデルフィア染色体陽性
3. 全身性硬化症 — HLA-B51 陽性
4. 悪性貧血 — ビタミン B6 欠乏

はき 20-75 ビタミン B₂ 欠乏による症状はどれか。

1. 皮膚炎
2. 精神障害
3. 神経炎
4. 貧 血

はき 22-80 「58 歳の女性。数年前から左手の第 4 指の近位指節間関節の腫脹に気がついた。特に疼痛はなかったが、今年になって右手の第 4 指近位指節間関節の腫脹もみられるようになった。」

本患者の治療で有効なのはどれか。

1. 非ステロイド系抗炎症薬
2. カルシトニン
3. ビタミン D 製剤
4. ビタミン B6

はき 23-57 口腔内所見と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. う 齒 ————— 悪性貧血
2. アフタ性口内炎 ————— 潰瘍性大腸炎
3. 舌 炎 ————— くる病
4. 口角炎 ————— ビタミン A 欠乏症

はき 23-61 骨疾患と病態の組合せで正しいのはどれか。

1. くる病 ————— ビタミン C 欠乏
2. 骨軟化症 ————— 類骨の増加
3. 骨粗鬆症 ————— 骨量の増加
4. 多発性骨髄腫 ————— 骨硬化

はき 24-56 悪性貧血について正しいのはどれか。

1. 伴性劣性遺伝である。
2. 抗内因子抗体が陽性となる。
3. 正球性貧血を呈する。
4. ビタミン B1 投与が有効である。

はき 25-68 ビタミンB₁₂欠乏による疾患はどれか

1. 骨軟化症
2. ウエルニッケ脳症
3. **巨赤芽球性貧血**
4. 脂漏性皮膚炎

はき 32-59 ビタミンB1欠乏でみられるのはどれか。

1. ペラグラ
2. 萎縮性胃炎
3. 巨赤芽球性貧血
4. **多発性末梢神経障害**

臨床医学各論 代謝・栄養疾患 キーワード：骨軟化症（くる病）P. 119

はき 22-74 骨疾患と好発時期との組合せで正しいのはどれか。

1. **くる病** ————— 小児期
2. 骨肉腫 ————— 老年期
3. 転移性骨腫瘍 —— 青年期
4. 骨粗鬆症 ——— 思春期

はき 23-57 口腔内所見と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. う歯 ————— 悪性貧血
2. **アフタ性口内炎** ——— 潰瘍性大腸炎
3. 舌炎 ————— くる病
4. 口角炎 ————— ビタミンA欠乏症

はき 23-61 骨疾患と病態の組合せで正しいのはどれか。

1. くる病 ————— ビタミンC欠乏
2. **骨軟化症** ————— 類骨の増加
3. 骨粗鬆症 ————— 骨量の増加
4. 多発性骨髄腫 —— 骨硬化

はき 25-68 ビタミンB₁₂欠乏による疾患はどれか

1. 骨軟化症
2. ウエルニッケ脳症
3. **巨赤芽球性貧血**
4. 脂漏性皮膚炎

はき 30-50 くる病の治療で適切でないのはどれか。

1. ビタミンDの投与
2. 運動
3. 日光浴
4. **副腎皮質ホルモンの投与**